

黒田庄まちづくり協議会より

去る5月26日(金)に黒っこプラザに於いて、令和5年度黒田庄まちづくり協議会総会を開催しましたので、主な議事のみお知らせします。

第204号6月

第4号議案 黒田庄まちづくり協議会組織等について

運営委員の総数は112名で、役員は、会長に伊藤義信氏、副会長に区長会から藤原悟氏、村上晴秋氏(任期中)、副会長に区長会から門上重彦氏が選出され、会計に村上浩八氏、監査に岡井定子氏、藤原正勝氏が選出されました。理事は、区長及び4事業部会の部会長・副部会長です。

事業部会は、地域交流部会・くらし安心部会・観光特産部会・広報部会の4部会構成で、地域交流部会の部会長に上月邦貢氏、副部会長に村上晴秋氏、くらし安心部会の部会長に藤原正勝氏、副部会長に西村昌夫氏、観光特産部会の部会長に藤本恭造氏、副部会長に岡原範充氏、広報部会の部会長に石井理氏、副部会長に宮崎敏弘氏が選出されました。

第5号議案 令和5年度事業計画(案)について

黒田庄地区まちづくり計画によるまちづくりのための目標を“千年の風土を未来につなぐNEW黒田庄づくり”とし、その目標づくりのために、西脇市条例に基づく地域自治協議会となる「黒田庄まちづくり協議会」を平成29年5月に設置しています。

この協議会は、公共的団体として、参画する団体・人々が話し合い、自主的・主体的に計画を実践するとともに、様々な課題解決を目指し、各事業部会や協議会全体で、次のような事業に取り組みます。



【重点項目】

1 地域づくり活動応援事業(黒田庄活性化事業)の実施

北播磨地域づくり活動応援事業補助制度などを活用し、JR加古川線の維持・利用促進の取り組みとして、『JR加古川線に乗ろうキャンペーン』を実施します。

2 福祉送迎車運行の充実

NPO法人による福祉送迎車の運行を継続実施します。

3 子ども見守り活動の推進

黒田庄子ども見守り活動隊による見守り活動及び青色パトロールカーを運行し、地域の安全を強化します。

4 子育て環境づくりの充実

子育て・未就学児への支援を実施します。

5 黒田庄駅舎「あつまっ亭」の

活性化

地域交流拠点施設「あつまっ亭」の利用を促進し、拠点のさらなる活性化につなげるため、チャレンジショップを継続実施します。



総会の様子



編集・発行
黒田庄まちづくり協議会
西脇市黒田庄町前坂2140番地
TEL 28-2121
令和5年6月15日発行



黒田庄地区の人口

(R5.6.1現在)

男 3,022

女 3,220

計 6,242

世帯数 2,636

人口前月比 (-6)

地域交流部会

1 西脇市・黒田庄夏まつり

第44回にしわき市・黒田庄夏まつり実行委員会を設置し、企画・立案を行い、協議会委員等の協力を得て開催します。

2 黒っこふれあい広場の活用(旧黒田庄町役場跡地)

第12回黒田庄軽トラ市(歳末市)実行委員会を設置し、喜多市と同時開催に向け、企画・立案を行い開催します。

3 交流カフェづくり

本年度は、より多くの自治会で交流カフェが実施できるよう支援します。

4 生涯学習・スポーツの振興、人権学習の推進

スポーツ行事や人権講演会など、地域交流部会として協力していきます。

くらし安心部会

1 福祉送迎車の活用(福祉送迎車運行事業)

身体状況により、西脇市コミュニティバス・乗合タクシー「むすブン」の利用ができない高齢者及び障がい者の生活支援のため、病院等の送迎として福祉送迎車の運行を継続実施します。

2 防災体制づくり

地区防災計画に基づき防災訓練などを実施します。

3 防犯体制づくり(子ども見守り活動の推進)

黒田庄子ども見守り活動隊による見守り活動及び青色パトロールカーを運行し、子どもたちの安全を確保します。また、隊員相互の連携を深めるために活動報告会などを開催します。

4 子育て環境づくり

未就学児やその保護者への支援を行います。

5 高齢者等の健康づくり

インドヨガは、心身の緊張をほぐし、心の安定と安らぎが得られ、健康と美容に効果があるため、今年度も継続してインドヨガ教室を開催します。

観光・特産部会

1 黒田庄駅舎「あつまっ亭」周辺の活性化

黒田庄駅舎「あつまっ亭」周辺の活性化を図るための事業やJR加古川線の維持・利用促進の取り組みとして、『JR加古川線に乗ろうキャンペーン』を実施します。また、あつまっ亭活性化実行委員会を設置し、「あつまっ亭感謝祭」の開催など、黒田庄駅舎「あつまっ亭」の活性化に取り組みます。

2 観光レクリエーションゾーンづくり

電車を利用して移動した後に、地域の名所等を巡るハイキングを実施します。また、黒田庄ウインターイルミネーションの拡充や安全に登山ができるよう白山・妙見山登山道の整備を行います。

3 特産品の開発・PR

特産品の開発に取り組むグループ「黒っ娘おぼんざい」の特産品開発に向けて支援していきます。

広報部会

1 「黒田庄つうしん」の発行

地域住民に情報の発信をするため、毎月15日に「黒田庄つうしん」を発行し、全戸配布及び市内公共施設等に配布します。

2 黒田庄の情報発信

黒田庄のイベントや観光などの情報を広く発信するため、SNSを活用した情報発信に努めます。

<黒田庄こども園ニュース>

<理事・評議員・監事の紹介>

本年度の黒田庄こども園 理事・評議員・監事は次の方々です。(敬称略)

理事長	藤原 悟	
職務代理	村上 晴秋	
監事	津瀬 秀一	大城戸 宗孝



住所	氏名	役職名	住所	氏名	役職名
小苗	藤原 悟	理事	西澤	飛田 喜明	評議員
前坂	門上 重彦	理事	石原	大隅 誠一	評議員
喜多	村上 晴秋	理事	田高	荻野 勝彦	評議員
大門	伊藤 茂弘	理事	船町	西村 昌夫	評議員
津万井	石井 理	理事	小苗	藤原 正勝	評議員
福地	角田 栄一	評議員	黒田	大城戸 宗孝	監事
岡	岡原 範充	評議員	小苗	津瀬 秀一	監事
門柳	藤原 靖士	評議員	こども園	荻野 隆之	理事
大伏	宮崎 敏弘	評議員			

黒田庄こども園理事・評議員・監事会は、「地域の子どもは、地域で育てる」という理念のもと、子どもたちが安心して健やかに成長できるよう、区長会が中心となって運営されています。

就学前の子どもたちの教育・保育について協議いただき、園の円滑な経営と運営、心豊かな子どもたちの育成に寄与いただいています。

本年度の園児数は104名でスタートしました。今後、年度途中の入園があり、110名の予定でこども園の教育・保育活動を推進していきます。

これまで制限してきた行事もできるだけ行っていきたくと考えています。より豊かで実りある活動を展開していきたくと思います。ご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。

<地域の心に支えられて>



5月31日(水)、園から少し歩いたところにある畑に、さつま芋の苗を4・5歳児が植えました。今年も、地元で農業をされている東野さんに畑の準備からお世話になり、当日は植え方を丁寧に教えてもらい、100本の苗を植えることができました。

前々日の雨で畑はぬかるみ、子どもたちは慎重に足を運んでいました。

苗が元気に育つよう、これからしっかりと水やりをしていきます。

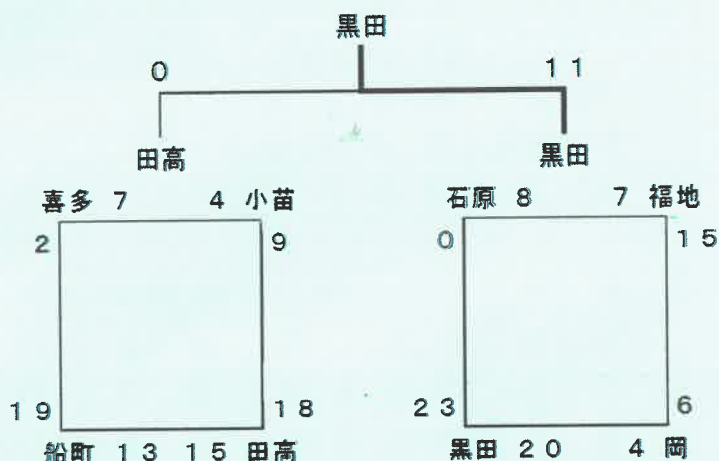


<十分に土をかけてくださいね>

(4)

★令和5年度黒田庄地区親善ソフトボール大会結果のお知らせ★

黒田庄スポーツ振興会主催の黒田庄地区親善ソフトボール大会を、去る6月4日(日)に黒田庄グラウンドで開催し、8集落が参加して予選を行いました。決勝戦は田高対黒田が行い、黒田が優勝しました。各集落の試合結果は次のとおりです。



★西脇建設業協会奉仕作業実施★

「善意の日」とは、昭和38年に兵庫県社会福祉協議会が設立主体となり兵庫善意銀行が設立されたことを記念し、兵庫県と兵庫県社会福祉協議会は「みんなの小さな善行や善意が重なって、世の中が明るくなるものであり、県民だれもが、この日何か1つ善行をしてもらいたい」という思いから、設立1周年となる昭和39年6月1日に毎年同日を「善意の日」と制定されました。

そして、去る6月1日「善意の日」に西脇建設業協会のみなさんが、喜多墓地前から黒田庄グラウンド下までの歩道の除草作業をされました。

この歩道は、子どもたちの通学路になっており、除草作業のおかげで安全に登下校ができるようになりました。ありがとうございました！



作業風景

編集後記

6月1日(木)に楠丘小学校の引き渡し訓練があり、祖父として参加してきました。訓練では、担任の先生に孫の名前と孫との関係を伝えて引き渡しを受けました。

この訓練は、災害時等に子どもを保護者に確実に引き渡せるようにとの目的で行われています。

いつ起きるかわからないのが災害。いざというときに子どもを守るためにも大切な訓練だと思いました。

Y. I